

椎の木



みんなで力をつける授業づくり

3年生は3者面談が終わり、いよいよ進路開拓が始まります。だれでも受験は不安なもの。でも全国の中学3年生が乗り越える壁。皆で力を合わせ、進路開拓に全力を尽くしてほしいと思います。学校としても、生徒の悩みに寄り添い、共に解決できるように支援をして参ります。さて、11月は学校全体として落ち着いて学習に取り組む時期でもあります。教師の授業改革への努力は今後も続けていきますが、生徒自身も「自分たちで授業をつくる。」「学び合いを通してだれひとり置いていかない。」「みんなで力をつける。」そんな授業が展開できるように共に力を尽くしたいと思います。ぜひ、保護者の皆様も授業の様子を見ていただき、ご意見等いただければ幸いです。11月5日から9日の授業公開週で60名の保護者の方に参観をいただきました。ありがとうございます。2学期は学期末保護者会を実施しません。学校を公開する機会を多くつくります。ぜひ学校に足をお運び下さい。その時、面談等希望される場合は担任まで申しつけ下さい。今後たくさん保護者の方が学校を見に来ていただけるように努力しますので、ご理解の程よろしくお願ひします。

授業改革のテーマ「学び合う 伝え合う」学習をとおして ＜授業のポイント＞

- 1 学習問題をしっかりと提示する。生徒の興味関心を引き出す問題にする。
- 2 授業の目標を達成させるために、授業の山場で4人グループの学び合いを組織する。
- 3 1時間の学習の中で、どのようなことがわかったのか、各自振り返りを行う。

第2回校内研究会 が行われる

11月15日(木)校内研究会を行いました。指導主事の先生方を8名招き、8名の先生方が授業を展開し生徒の学びが深まるためにはどのような手立てをすればよいか、研修会で活発な議論が行われました。

佐藤 優輔教諭…“授業”は学校生活の大半を占めるものです。授業が楽しくないと感じてしまったら、その子にとって学校が楽しいものではなくなってしまうと思います。勉強が苦手でも、学習内容が難しくても一生懸命取り組もうとする…そんな生徒を育てたいという思いで現在「学び合い」という形での授業を行っています。「学び合い」では、学習課題を全員が達成することを目標とします。そのため、生徒は自由に教室内を動き、相談します。このとき大切にしていることは「絶対に一人も見捨ててはいけない」ということです。最近では、自然と教え合うようになり、悩んでいる生徒に声をかける生徒も出てきました。今後も生徒一人ひとりが生き生きとした表情で、「分かった!」や「なるほど!」という言葉が飛び交うような授業を目指して生徒と頑張っていきたいと思っています。



3年保育実習を通して

金田 真依 教諭

今年度、義務教育を終える中学校3年生の保育分野の学習で保育体験を設定しました。現在生徒達は、こどもとして守られる存在ですが、将来は子供達を守り、支え、育てていく立場に変わっていくことを自覚しなければなりません。この体験を通して、命の大切さ、尊さを感じさせると共に、自分の成長についても振り返り、家族や支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを改めて感じてほしいと思います。



3年 若林 芽衣さん

普段、私たちは中学生は幼稚園児とふれあう機会はありません。今回の保育実習はとても貴重な時間となりました。私たちが手作りしたおもちゃにも興味をもってくれてとてもうれしかったです。とても充実した保育実習になり、時間が過ぎるのがあっという間でした。保育実習を通して幼稚園児とのコミュニケーションの取り方、そしてどのようにしたら小さいこどもが喜んでくれるのかなどたくさん考え、学ぶことができました。



市立柏高等学校アンサンブルコンテスト金賞 県大会出場

藪崎 彩音教諭

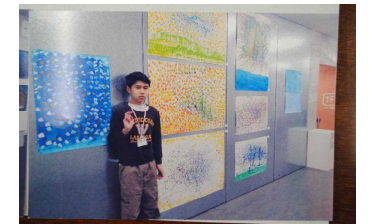
アンサンブルコンテストでは、1人1パートを担当し、最大8人で演奏します。自分の音に責任をもち、息を合わせ、表現の方向性をしっかりと共有することが重要です。メンバーたちは、一曲を仕上げるために様々な試行錯誤や議論を重ね、各チームの力を培ってきました。この度打楽器四重奏は、12月23日に千葉県文化会館で行われる県大会への出場が決まりました。激戦区である東葛飾地区の代表としてふさわしい演奏ができるよう、今まで以上に練習に励んでいきますので、応援よろしくお願ひします。



土肥 諒子さん 11月11日(日)に行われた東葛飾地区アンサンブルコンテストにて、打楽器部門に2年生3名・1年生1名の4名で出場し、金賞受賞、県大会(本選)出場という結果を残すことができました。県大会へ出場できるのは18団体で1団体のみと厳しい目標でしたが、練習の成果を発揮し、みごと1位になりました。県大会ではチーム一丸となって全力で取り組みます。ここまで支えて下さった先生方と部員のみみなへの感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

PLAY WITH LIGHT 小野 恭佑さん

小野恭佑さんの作品がオーディズム・アート・ブックに掲載され、日本語、中国語、韓国語の4カ国語に翻訳され世界数カ国で発売が予定されています。「彼の絵は光と遊んでいるように夥りのない豊かな色彩であふれている」と評価を受けています。作品は職員室前廊下に掲示してあります。ご覧下さい。



平成30年度明るい選挙啓発ポスター・標語

3年クリアリー ニコラスさんの標語「さあ行こう その一票が 未来の一票」が流山市において最優秀賞を受賞しました。おめでとう。